



2024年11月5日

各 位

会 社 名 AZ-COM丸和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 和佐見 勝  
(コード番号: 9090 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役専務執行役員経営管理グループ長  
葛野 正直  
(TEL 048-991-1000)

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異及び  
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 連結中間純利益
前回発表予想(A)	113,800	6,860	7,120	4,610	34.18
実績値(B)	101,440	4,326	4,609	2,845	21.11
増減額(B-A)	△12,359	△2,533	△2,511	△1,764	
増減率(%)	△10.9	△36.9	△35.3	△38.3	
(参考)前期第2四半期(中間期)実績 (2024年3月期第2四半期(中間期))	96,560	7,317	7,544	4,545	36.11

(差異の理由)

物流の働き方改革(2024年問題)に伴う労働時間の見直しや労働力確保に伴う人件費の上昇に加え、資源エネルギー価格の高騰を背景とした各種コストの高止まりなど、厳しい経営環境が継続しました。加えて、拠点見直しに伴う輸送数の大幅な減少や新規物流センター開設及び業務安定化に係る一時費用、また株式公開買付実施に伴う一時費用も発生しました。

これらを受け、売上面、利益面の両面で生じた影響を補うべく、新規顧客の開拓、既存顧客に対する案件の受注拡大、価格転嫁交渉による適正料金化、生産性改善等に取り組んでまいりましたが、当初の業績予想を下回ることとなりました。

2. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	240,000	17,100	17,500	11,000	81.55
今回修正予想(B)	207,000	11,200	11,700	7,700	57.15
増減額(B-A)	△33,000	△5,900	△5,800	△3,300	
増減率(%)	△13.8	△34.5	△33.1	△30.0	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	198,554	13,845	14,498	9,119	70.88

(修正の理由)

第2四半期(中間期)連結累計期間の業績が予想を下回ったこと及び直近の業績等を踏まえ前回予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。従来予想に比べ、売上高は33,000百万円減少の207,000百万円、営業利益は5,900百万円減少の11,200百万円、経常利益は5,800百万円減少の11,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,300百万円減少の7,700百万円といたしました。

※本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績はこれらの数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上